

紫陽花の花が、雨に濡れてひととき鮮やかな季節となりました。
今回は『リン』について考えていきたいと思います。



<高リン血症について>



余分なリンは腎臓から
尿中へ排泄されます

ところが、腎機能が低下すると・・・



余分なリンを体の外に排泄できなくなり体内にリンが
たまっていく（リンの血中濃度が上がる）
この状態を「高リン血症」といいます

<透析患者の死因>

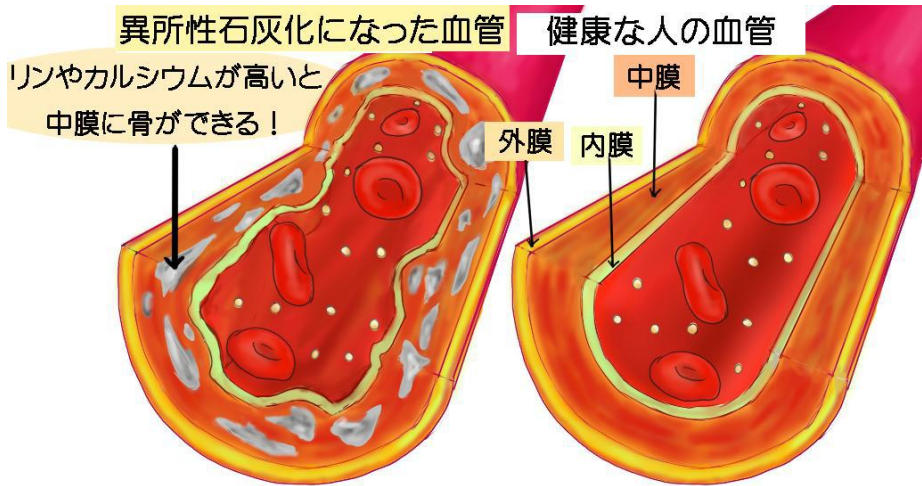
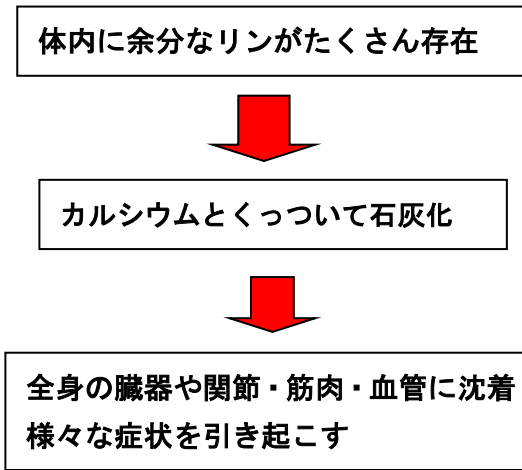
死亡原因	%
心不全	25%
感染症	18.5%
脳血管障害	10.7%
悪性腫瘍	8.5%
心筋梗塞	6.2%
カリウム中毒	5.5%
悪液質 / 尿毒症	2.7%
出血	2.2%
慢性肝炎/ 肝硬変	1.7%
その他 / 不明	19.0%

透析患者の死因のうち
心不全、脳血管障害、心筋梗塞
といった心血管系疾患が
40%以上を占めています。
この心血管系疾患の原因の
大きな原因が高リン血症と
言われています。

日本透析医学会統計調査委員会による「透析前血清リンと一年間の死亡リスク」に関する報告によると、リンの値は4.0~5.0mg/dlの間が一番死亡リスク（危険度）が低く、それ以上リンが高くなると死亡リスク（危険度）が高くなっています。この解析結果から透析前血清リンは4.0~6.0mg/dlを目標にコントロールするのが最も良いことが分かっています。

<異所性石灰化について>

異所性石灰化・・・本来石灰化が起こる歯と骨以外の部分に石灰化が起こる病気。石灰化は関節、血管、筋肉など全身の臓器に起こる。



異所性石灰化した血管は硬くなり、伸縮力を失い、もろくなります。そして血圧調整ができなくなり、心臓に負担をかけ心不全・心筋梗塞になりやすくなります。これが透析患者さんに心不全が多い原因の1つと言われています。高リン血症になるとすぐに合併症が現れるわけではありませんが、長い間放っておくと、深刻な合併症を引き起こす可能性がありますので、高リン血症にならないように日頃から気を付けましょう！